

試験依頼書

(様式受付1-1)

試験手数料料 (消費税含む)

平成29年4月1日

骨材試験

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事 様

伺、試験依頼書により実施してよろしいか。

課長	責任者	担当者

依頼者コード番号

番号不明の場合は
空けておいてください

(依頼者)

郵便番号
住所
会社名・氏名
電話番号

印

成績書の受取方法

(送付先が依頼者と異なる場合は、記入して下さい)

送付 ・ 引取

郵便番号

- 郵便切手付
 送料現金
 着払い

住所
会社名

※ 送付先が異なる場合のみご記入ください

つぎのとおり材料試験を依頼します。

1. 工事名 (記入は楷書で丁寧に)	
2. 工事場所 (〇〇市・郡〇〇町・村〇〇)	
3. 備考 (成績書に記載されます)	

【供試体・試料の取扱い】

試験依頼書記入の注意点

返却希望

※試験後の供試体は申し出のないかぎり処分させていただきます。

・試験分類毎に記入してください。

土質試験・・・路盤材と土(まさ土・現場採取土)とは、別々の依頼書に記入し、岩のスレーキング試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

骨材試験・・・アルカリシリカ反応性試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

【試験問い合わせ先】

材料試験課 0858-26-6377

・鋼材試験の場合は、製造所及び径ごとにロールマークが入った試験片を必ず一本入れてください。

・依頼時には、試験完了予定日(注1)を確認してください。

4. 試料、供試体の種類・規格・各種データ等(※供試体は申し出のないかぎり、試験後に処分させていただきます。)

NO.	名称・規格・材質	試料数	受取確認	径・寸法等 圧接は()に明記	受取確認	試料の生産地・採取地	採取業者・製造所名
例1	C-30	6袋				〇〇郡〇〇町	〇〇砕石(株)
例2	SD345	3本				D25+D25(圧接)	
1	天然砂	3袋				〇〇郡〇〇町〇〇	〇〇砕石(株)
2	S-30(4号)	6袋				〇〇郡〇〇町〇〇	〇〇砕石(株)
3							
4							
5							
6							

必要に応じてご記入ください

依頼者からの試験方法等の指示、または受取否の場合の連絡事項等

- 材料不足
 規格等の不一致

受入者

再発行する受付番号

受付番号

試験完了
予定日

平成 年 月 日

(保管期間5年)

分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考	分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考
(A)骨材試験	細骨材	ふるい分け	①	3,900	1	3,900	10kg程度	(D)コンクリート試験	比重・吸水率	⑨	3,850		1個あたり
		密度及び吸水率	②	4,750	1	4,750			圧縮強さ	⑩	3,000		10×10×20cm等
		単位容積質量	③	1,850	1	1,850			積みブロック形状・質量	⑪	1,800		
		微粒分量	④	3,300	1	3,300							
		塩化物	⑤	4,450	1	4,450		小計					
		有機不純物	⑥	3,400	1	3,400		クラッシュラン粒度	①	5,850		30kg程度	
		安定性	⑦	24,000	1	24,000		粒調砕石粒度	②	7,150			
	粗骨材	ふるい分け	⑧	5,000	1	5,000	30kg程度	(E)土質試験	液性限界	③	4,450		20kg程度
		密度及び吸水率	⑨	4,250	1	4,250	20kg程度		塑性限界	④	3,300		
		単位容積質量	⑩	2,500	1	2,500	40kg程度		締め固め	⑤	12,050		60kg程度
		すりへり	⑪	10,450	1	10,450	30kg程度		修正CBR	⑥	33,950		60kg程度 ③④⑤を組合せ
		微粒分量	⑫	4,000			10kg程度		設計CBR	⑦	11,450		50kg程度
		安定性	⑬	24,000			30kg程度		土粒子密度	⑧	3,900		10kg程度
		軟石量	⑭	6,200					土粒子ふるい分析	⑨	5,350		20kg程度
	ふるい分け(水ふるい法)	⑮	5,700			10kg程度	土粒子沈降分析		⑩	12,050		20kg程度 ③④⑤を組合せ	
表面水率	⑯	2,050				土の含水比	⑪		1,200		10kg程度		
粘土塊量	⑰	5,000				湿潤密度	⑫		1,750				
粒形判定実積率	⑱	8,150			60kg程度	収縮常数	⑬		休止				
アルカリシリカ反応性(化学法)	⑳	57,600			40kg程度	圧密	⑭	休止					
アルカリシリカ反応性(モルタル法)	㉒	108,000			40kg程度	一軸圧縮	⑮	5,800		必要に応じ ③④⑤を組合せ			
小計			11	67,850		一面せん断	⑯	休止					
(B)鋼材試験	形状寸法・単質	①	950			1本(長さ60cm)	三軸試験	非圧密非排水	⑰	10,800		事前打合せ必要	
	金属材料引張	②	1,250			1本(長さ60cm)		圧密非排水	⑱	41,050			
	金属材料曲げ	③	1,250			線材φ4以上可		圧密排水	⑲	30,250			
	線材のメッキ	④	休止					定水位透水	⑳	8,450		必要に応じ ⑧を組合せる	
	棒鋼のメッキ	⑤	休止					変水位透水	㉑	11,300			
小計						岩のスレーキング率	㉒	14,450		60kg程度			
(C)アスファルト試験	アスファルト抽出	①	13,500			1試料	金額	小計					
	コアーの密度	②	1,800			1個		注2, 3) 試験成績書	400	2	800		
	マーシャル安定度	③	4,100			1個		試験手数料合計			68,650		
	石粉の比重	④	4,550			10kg程度							
小計													

5. 試験分類 6. 試験種別・番号と試験数(各試料ごと、上記試験種別・番号と一致する欄に試験の数を記入)

NO.	A~Eを1つ記入	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
例1	E	1		1	1	1	1																
例2	B		3																				
1	A	1	1	1	1	1	1	1															
2	A								1	1	1	1											
3																							
4																							
5																							
6																							
合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1											

センター記入欄 こちらの記入もお忘れなく(①か②を指定してください)

注2)骨材・土質試験の場合は、成績書の発行方法を記入して下さい。注3)骨材試験の場合は、種類を選択して下さい。

試験成績書	①種類ごとに	1部	計	2部	<input type="checkbox"/> コンクリート用	<input type="checkbox"/> 道路用、アスファルト用
	②受付番号でまとめて					

試験依頼書

(様式受付1-1)

試験手数料料 (消費税含む)

平成29年4月1日

土質試験(路盤材)

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事 様

伺、試験依頼書により実施してよろしいか。

課長	責任者	担当者

依頼者コード番号

番号不明の場合は
空けておいてください

(依頼者)

郵便番号
住所
会社名・氏名
電話番号

印

成績書の受取方法

(送付先が依頼者と異なる場合は、記入して下さい)

送付・ 引取

郵便番号

郵便切手付
 送料現金
 着払い

住所
会社名

※ 送付先が異なる場合のみご記入ください

つぎのとおり材料試験を依頼します。

1. 工事名 (記入は楷書で丁寧に)	
2. 工事場所 (〇〇市・郡〇〇町・村〇〇)	
3. 備考 (成績書に記載されます)	

【供試体・試料の取扱い】

試験依頼書記入の注意点

返却希望

※試験後の供試体は申し出のないかぎり処分させていただきます。

・試験分類毎に記入してください。

土質試験・・・路盤材と土(まさ土・現場採取土)とは、別々の依頼書に記入し、岩のスレーキング率試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

骨材試験・・・アルカリシリカ反応性試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

【試験問い合わせ先】

材料試験課 0858-26-6377

・鋼材試験の場合は、製造所及び径ごとにロールマークが入った試験片を必ず一本入れてください。

・依頼時には、試験完了予定日(注1)を確認してください。

4. 試料、供試体の種類・規格・各種データ等(※供試体は申し出のないかぎり、試験後に処分させていただきます。)

NO.	名称・規格・材質	試料数	受取確認	径・寸法等 圧接は()に明記	受取確認	試料の生産地・採取地	採取業者・製造所名
例1	C-30	6袋				〇〇郡〇〇町	〇〇砕石(株)
例2	SD345	3本				D25+D25(圧接)	
1	C-30	6袋				〇〇郡〇〇町〇〇	〇〇砕石(株)
2	M-30	6袋				〇〇郡〇〇町〇〇	〇〇砕石(株)
3							
4							
5							
6							

必要に応じてご記入ください

依頼者からの試験方法等の指示、または受取否の場合の連絡事項等

材料不足
 規格等の不一致

受入者

再発行する受付番号

受付番号

試験完了
予定日

平成 年 月 日

(保管期間5年)

分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考	分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考		
(A)	細骨材	ふるい分け	①	3,900		10kg程度	(D)コンクリート試験	石材	比重・吸水率	⑨	3,850		1個あたり		
		密度及び吸水率	②	4,750						圧縮強さ	⑩	3,000		10×10×20cm等	
		単位容積質量	③	1,850						積みブロック形状・質量	⑪	1,800			
		微粒分量	④	3,300					小計						
		塩化物	⑤	4,450					(E)土質試験	クラッシュラン粒度	①	5,850	1	5,850	30kg程度
		有機不純物	⑥	3,400						粒調砕石粒度	②	7,150	1	7,150	
		安定性	⑦	24,000						液性限界	③	4,450	2	8,900	20kg程度
	粗骨材	ふるい分け	⑧	5,000		30kg程度		塑性限界		④	3,300	2	6,600		
		密度及び吸水率	⑨	4,250		20kg程度		締め固め		⑤	12,050	2	24,100	60kg程度	
		単位容積質量	⑩	2,500		40kg程度		修正CBR		⑥	33,950	2	67,900	60kg程度 ③④⑤を組合せる	
	試験	骨材	すりへり	⑪	10,450			30kg程度		設計CBR	⑦	11,450			50kg程度
			微粒分量	⑫	4,000		10kg程度	土粒子密度	⑧	3,900			10kg程度		
			安定性	⑬	24,000		30kg程度	土粒子ふるい分析	⑨	5,350			20kg程度		
		試験	軟石量	⑭	6,200			土粒子沈降分析	⑩	12,050			20kg程度 ③④⑤を組合せる		
			ふるい分け(水ふるい法)	⑮	5,700		10kg程度	土の含水比	⑪	1,200			10kg程度		
表面水率			⑯	2,050			湿潤密度	⑫	1,750						
密度1.95g/cm ³ の液体に浮く粒子			⑰	5,000			収縮常数	⑬	休止						
粘土塊量	⑱	5,000				圧密	⑭	休止							
粒形判定実積率	⑲	8,150		60kg程度	一軸圧縮	⑮	5,800			必要に応じ ③④⑤を組合せる					
アルカリシリカ反応性(化学法)	⑳	57,600		40kg程度	一面せん断	⑯	休止								
アルカリシリカ反応性(モルタル法)	㉒	108,000		40kg程度	三軸	非圧密非排水	⑰	10,800			事前打合せ必要				
小計						圧密非排水	⑱	41,050							
(B)鋼材試験	形状寸法・単質	①	950			1本(長さ60cm)	圧密排水	⑲	30,250						
	金属材料引張	②	1,250			1本(長さ60cm) 線材φ4以上可	定水位透水	⑳	8,450			必要に応じ ⑧を組合せる			
	金属材料曲げ	③	1,250			1本(長さ60cm)	変水位透水	㉑	11,300						
	線材のメッキ	④	休止				岩のスレーキング率	㉒	14,450			60kg程度			
	棒鋼のメッキ	⑤	休止				小計				10	120,500			
小計						金額				400	2	800			
フ(アルト)試験	アスファルト抽出	①	13,500			1試料	注2, 3) 試験成績書				400	2	800		
	コアーの密度	②	1,800			1個	試験手数料合計						121,300		
	マーシャル安定度	③	4,100			1個									
	石粉の比重	④	4,550			10kg程度									
小計															

5. 試験分類 6. 試験種別・番号と試験数(各試料ごと、上記試験種別・番号と一致する欄に試験の数を記入)

NO.	A~Eを1つ記入	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
例1	E	1		1	1	1	1																
例2	B		3																				
1	E	1		1	1	1	1																
2	E		1	1	1	1	1																
3																							
4																							
5																							
6																							
合計		1	1	2	2	2	2																

こちらの記入もお忘れなく
(①か②を指定してください)

注2)骨材・土質試験の場合は、成績書の発行方法を記入して下さい

注3)骨材試験の場合は、種類を選択して下さい。

試験成績書	①種類ごとに	1部	計	2部
	②受付番号でまとめて			

コンクリート用 道路用、アスファルト用

試験依頼書

(様式受付1-1)

試験手数料料 (消費税含む)

平成29年4月1日

土質試験(路床材・盛土材)

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事 様

伺、試験依頼書により実施してよろしいか。

課長	責任者	担当者

依頼者コード番号

番号不明の場合は
空けておいてください

(依頼者)

郵便番号
住所
会社名・氏名
電話番号

印

成績書の受取方法

(送付先が依頼者と異なる場合は、記入して下さい)

送付・ 引取

- 郵便切手付
 送料現金
 着払い

郵便番号

住所
会社名

※ 送付先が異なる場合のみご記入ください

つぎのとおり材料試験を依頼します。

1. 工事名 (記入は楷書で丁寧に)	
2. 工事場所 (〇〇市・郡〇〇町・村〇〇)	
3. 備考 (成績書に記載されます)	

【供試体・試料の取扱い】

試験依頼書記入の注意点

返却希望

※試験後の供試体は申し出のないかぎり処分させていただきます。

・試験分類毎に記入してください。

土質試験・・・路盤材と土(まさ土・現場採取土)とは、別々の依頼書に記入し、岩のスレーキング率試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

骨材試験・・・アルカリシリカ反応性試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

【試験問い合わせ先】

材料試験課 0858-26-6377

・鋼材試験の場合は、製造所及び径ごとにロールマークが入った試験片を必ず一本入れてください。

・依頼時には、試験完了予定日(注1)を確認してください。

4. 試料、供試体の種類・規格・各種データ等(※供試体は申し出のないかぎり、試験後に処分させていただきます。)

NO.	名称・規格・材質	試料数	受取確認	径・寸法等 圧接は()に明記	受取確認	試料の生産地・採取地	採取業者・製造所名
例1	C-30	6袋				〇〇郡〇〇町	〇〇砕石(株)
例2	SD345	3本		D25+D25(圧接)			〇〇製鉄(株)
1	真砂土	4袋				〇〇郡〇〇町〇〇	〇〇(株)
2	現場採取土	5袋					
3							
4							
5							
6							

必要に応じてご記入ください

依頼者からの試験方法等の指示、または受取否の場合の連絡事項等

材料不足
 規格等の不一致

受入者

再発行する受付番号

受付番号

試験完了
予定日

平成 年 月 日

(保管期間5年)

分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考	分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考
(A) 骨材試験	細骨材	ふるい分け	①	3,900		10kg程度	(D) コンクリート試験	石材	比重・吸水率	⑨	3,850		1個あたり
		密度及び吸水率	②	4,750		〃			圧縮強さ	⑩	3,000		10×10×20cm等
		単位容積質量	③	1,850		〃			積みブロック形状・質量	⑪	1,800		
		微粒分量	④	3,300		〃		小計					
		塩化物	⑤	4,450		〃		(E) 土質試験	クラッシュラン粒度	①	5,850		30kg程度
		有機不純物	⑥	3,400		〃			粒調砕石粒度	②	7,150		〃
		安定性	⑦	24,000		〃			液性限界	③	4,450	1	4,450
	ふるい分け	⑧	5,000		30kg程度	塑性限界			④	3,300	1	3,300	〃
	密度及び吸水率	⑨	4,250		20kg程度	締め固め			⑤	12,050	2	24,100	60kg程度
	単位容積質量	⑩	2,500		40kg程度	修正CBR			⑥	33,950			60kg程度 ③④⑤を組合せる
	すりへり	⑪	10,450		30kg程度	設計CBR			⑦	11,450	2	22,900	50kg程度
	粗骨材	微粒分量	⑫	4,000		10kg程度	土粒子密度	⑧	3,900	1	3,900	10kg程度	
		安定性	⑬	24,000		30kg程度	土粒子ふるい分析	⑨	5,350	1	5,350	20kg程度	
		軟石量	⑭	6,200		〃	土粒子沈降分析	⑩	12,050			20kg程度 ③④⑤を組合せる	
		ふるい分け(水ふるい法)	⑮	5,700		10kg程度	土の含水比	⑪	1,200	1	1,200	10kg程度	
表面水率		⑯	2,050		〃	湿潤密度	⑫	1,750					
粘土塊量		⑰	5,000		〃	収縮常数	⑬	休止					
粒形判定実積率		⑱	8,150		60kg程度	圧密	⑭	休止					
アルカリシリカ反応性(化学法)		⑳	57,600		40kg程度	一軸圧縮	⑮	5,800			必要に応じ ③④⑤を組合せる		
アルカリシリカ反応性(モルタル法)	㉑	108,000		40kg程度	一面せん断	⑯	休止						
小計						三軸	非圧密非排水	⑰	10,800			事前打合せ必要	
(B) 鋼材試験	形状寸法・単質	①	950			1本(長さ60cm)	圧密非排水	⑱	41,050			〃	
	金属材料引張	②	1,250			1本(長さ60cm) 線材φ4以上可	圧密排水	⑲	30,250			〃	
	金属材料曲げ	③	1,250			1本(長さ60cm)	定水位透水	⑳	8,450			必要に応じ ⑧を組合せる	
	線材のメッキ	④	休止				変水位透水	㉑	11,300			〃	
	棒鋼のメッキ	⑤	休止				岩のスレーキング率	㉒	14,450			60kg程度	
小計						小計			9	65,200			
(C) アスファルト試験	アスファルト抽出	①	13,500			1試料	金額	注2, 3) 試験成績書			400	2	800
	コアーの密度	②	1,800			1個		試験手数料合計					66,000
	マーシャル安定度	③	4,100			1個							
	石粉の比重	④	4,550			10kg程度							
小計													

5. 試験分類 6. 試験種別・番号と試験数(各試料ごと、上記試験種別・番号と一致する欄に試験の数を記入)

NO.	A~Eを 1つ記入	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
例1	E	1		1	1	1																	
例2	B		3																				
1	E					1		1															
2	E			1	1	1		1	1	1		1											
3																							
4																							
5																							
6																							
合計				1	1	2		2	1	1		1											

こちらの記入もお忘れなく
(①か②を指定してください)

注2) 骨材・土質試験の場合は、成績書の発行方法を記入して下さい

注3) 骨材試験の場合は、種類を選択して下さい。

試験成績書	①種類ごとに	1部	計	2部
	②受付番号でまとめて			

コンクリート用 道路用、アスファルト用

試験依頼書

(様式受付1-1)

試験手数料料 (消費税含む)

平成29年4月1日

鋼材試験

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事 様

伺、試験依頼書により実施してよろしいか。

課長	責任者	担当者

依頼者コード番号

番号不明の場合は空けておいてください

(依頼者)

郵便番号

住所

会社名・氏名

電話番号

印

成績書の受取方法

(送付先が依頼者と異なる場合は、記入して下さい)

送付・ 引取

郵便番号

郵便切手付

住所

送料現金

会社名

着払い

※ 送付先が異なる場合のみご記入ください

つぎのとおり材料試験を依頼します。

1. 工事名 (記入は楷書で丁寧に)	
2. 工事場所 (〇〇市・郡〇〇町・村〇〇)	
3. 備考 (成績書に記載されます)	

【供試体・試料の取扱い】

試験依頼書記入の注意点

返却希望

※試験後の供試体は申し出のないかぎり処分させていただきます。

・試験分類毎に記入してください。

土質試験・・・路盤材と土(まさ土・現場採取土)とは、別々の依頼書に記入し、岩のスレーキング率試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

骨材試験・・・アルカリシリカ反応性試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

【試験問い合わせ先】

材料試験課 0858-26-6377

・鋼材試験の場合は、製造所及び径ごとにロールマークが入った試験片を必ず一本入れてください。

・依頼時には、試験完了予定日(注1)を確認してください。

分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考	分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考
(A) 骨材試験	細骨材	ふるい分け	①	3,900		10kg程度	(D) コンクリート試験	石材	比重・吸水率	⑨	3,850		1個あたり
		密度及び吸水率	②	4,750		〃			圧縮強さ	⑩	3,000		10×10×20cm等
		単位容積質量	③	1,850		〃			積みブロック形状・質量	⑪	1,800		
		微粒分量	④	3,300		〃		小計					
		塩化物	⑤	4,450		〃		(E) 土質試験	クラッシュラン粒度	①	5,850		30kg程度
		有機不純物	⑥	3,400		〃			粒調砕石粒度	②	7,150		〃
		安定性	⑦	24,000		〃			液性限界	③	4,450		20kg程度
	ふるい分け	⑧	5,000		30kg程度	塑性限界			④	3,300		〃	
	密度及び吸水率	⑨	4,250		20kg程度	締め固め			⑤	12,050		60kg程度	
	単位容積質量	⑩	2,500		40kg程度	修正CBR			⑥	33,950		60kg程度 ⑤を組合せる	
	すりへり	⑪	10,450		30kg程度	設計CBR			⑦	11,450		50kg程度	
	粗骨材	微粒分量	⑫	4,000		10kg程度	土粒子密度	⑧	3,900		10kg程度		
		安定性	⑬	24,000		30kg程度	土粒子ふるい分析	⑨	5,350		20kg程度		
		軟石量	⑭	6,200		〃	土粒子沈降分析	⑩	12,050		20kg程度 ③④⑤を組合せる		
		ふるい分け(水ふるい法)	⑮	5,700		10kg程度	土の含水比	⑪	1,200		10kg程度		
表面水率		⑯	2,050		〃	湿潤密度	⑫	1,750					
粘土塊量		⑰	5,000		〃	収縮常数	⑬	休止					
粒形判定実積率		⑱	8,150		60kg程度	圧密	⑭	休止					
アルカリシリカ反応性(化学法)		⑳	57,600		40kg程度	一軸圧縮	⑮	5,800		必要に応じ ③④⑤を組合せる			
アルカリシリカ反応性(モルタル法)	㉒	108,000		40kg程度	一面せん断	⑯	休止						
小計						三軸	非圧密非排水	⑰	10,800			事前打合せ必要	
(B) 鋼材試験	形状寸法・単質	①	950	1	950	1本(長さ60cm)	圧密非排水	⑱	41,050			〃	
	金属材料引張	②	1,250	4	5,000	1本(長さ60cm) 線材φ4以上可	圧密排水	⑲	30,250			〃	
	金属材料曲げ	③	1,250	1	1,250	1本(長さ60cm)	定水位透水	⑳	8,450			必要に応じ ⑧を組合せる	
	線材のメッキ	④	休止				変水位透水	㉑	11,300			〃	
	棒鋼のメッキ	⑤	休止				岩のスレーキング率	㉒	14,450			60kg程度	
小計				6	7,200		小計						
(C) アスファルト試験	アスファルト抽出	①	13,500			1試料	金額	注2, 3) 試験成績書		400	1		400
	コアーの密度	②	1,800			1個		試験手数料合計					7,600
	マーシャル安定度	③	4,100			1個							
	石粉の比重	④	4,550			10kg程度							
小計													

4. 試料、供試体の種類・規格・各種データ等(※供試体は申し出のないかぎり、試験後に処分させていただきます。)

NO.	名称・規格・材質	試料数	受取確認	径・寸法等 圧接は()に明記	受取確認	試料の生産地・採取地	採取業者・製造所名
例1	C-30	6袋				〇〇郡〇〇町	〇〇砕石(株)
例2	SD345	3本				D25+D25(圧接)	
1	SD345	3本		D25+D25(圧接)			〇〇製鋼(株)
2	SD295A	3本		D16			〇〇製鋼(株)
3							
4							
5							
6							

必要に応じてご記入ください

依頼者からの試験方法等の指示、または受取否の場合の連絡事項等

材料不足
 規格等の不一致

受入者

5. 試験分類 6. 試験種別・番号と試験数(各試料ごと、上記試験種別・番号と一致する欄に試験の数を記入)

NO.	A~Eを1つ記入	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
例1	E	1		1	1	1	1																
例2	B		3																				
1	B		3																				
2	B	1	1	1																			
3																							
4																							
5																							
6																							
合計		1	4	1																			

センター
記入欄

注2) 骨材・土質試験の場合は、成績書の発行方法を記入して下さい。

注3) 骨材試験の場合は、種類を選択して下さい。

再発行する受付番号

受付番号

試験完了
予定日

平成 年 月 日

(保管期間5年)

試験成績書

①種類ごとに
②受付番号でまとめて

部計 部

コンクリート用 道路用、アスファルト用

試験依頼書

(様式受付1-1)

試験手数料料 (消費税含む)

平成29年4月1日

アスファルト試験

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事 様

伺、試験依頼書により実施してよろしいか。

課長	責任者	担当者

依頼者コード番号

番号不明の場合は
空けておいてください

(依頼者)

郵便番号
住所
会社名・氏名
電話番号

印

成績書の受取方法

(送付先が依頼者と異なる場合は、記入して下さい)

送付・ 引取

- 郵便切手付
- 送料現金
- 着払い

郵便番号

住所
会社名

※ 送付先が異なる場合のみご記入ください

つぎのとおり材料試験を依頼します。

1. 工事名 <small>(記入は楷書で丁寧に)</small>	
2. 工事場所 <small>(〇〇市・郡〇〇町・村〇〇)</small>	
3. 備考 <small>(成績書に記載されます)</small>	

【供試体・試料の取扱い】

試験依頼書記入の注意点

返却希望

※試験後の供試体は申し出のないかぎり処分させていただきます。

・試験分類毎に記入してください。

土質試験・・・路盤材と土(まさ土・現場採取土)とは、別々の依頼書に記入し、岩のスレーキング率試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

骨材試験・・・アルカリシリカ反応性試験は、他の試験項目と分けて、別々の依頼書に記入してください。

【試験問い合わせ先】

材料試験課 0858-26-6377

・鋼材試験の場合は、製造所及び径ごとにロールマークが入った試験片を必ず一本入れてください。

・依頼時には、試験完了予定日(注1)を確認してください。

4. 試料、供試体の種類・規格・各種データ等(※供試体は申し出のないかぎり、試験後に処分させていただきます。)

NO.	名称・規格・材質	試料数	受取確認	径・寸法等 圧接は()に明記	受取確認	試料の生産地・採取地	採取業者・製造所名
例1	C-30	6 袋		D25+D25(圧接)		〇〇郡〇〇町	〇〇砕石(株)
例2	SD345	3 本				〇〇製鉄(株)	
1	再生密粒度As13	1					〇〇産業(株)
2	再生密粒度As20	1				〇〇産業(株)	
3							
4							
5							
6							

必要に応じてご記入ください

依頼者からの試験方法等の指示、または受取否の場合の連絡事項等

- 材料不足
- 規格等の不一致

受入者

再発行する受付番号

受付番号

試験完了
予定日

平成 年 月 日

(保管期間5年)

分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考	分類	試験種別	番号	手数料(円)	数量	金額(円)	備考	
(A) 骨材試験	細骨材	ふるい分け	①	3,900		10kg程度	(D) コンクリート試験	石材	比重・吸水率	⑨	3,850		1個あたり	
		密度及び吸水率	②	4,750						圧縮強さ	⑩	3,000		10×10×20cm等
		単位容積質量	③	1,850						積みブロック形状・質量	⑪	1,800		
		微粒分量	④	3,300					小 計					
		塩化物	⑤	4,450					(E) 土質試験	クラッシュラン粒度	①	5,850		30kg程度
		有機不純物	⑥	3,400						粒調砕石粒度	②	7,150		
		安定性	⑦	24,000						液性限界	③	4,450		20kg程度
	粗骨材	ふるい分け	⑧	5,000		30kg程度		塑性限界		④	3,300			
		密度及び吸水率	⑨	4,250		20kg程度		締め固め		⑤	12,050		60kg程度	
		単位容積質量	⑩	2,500		40kg程度		修正CBR		⑥	33,950		60kg程度 ③④⑤を組合せ	
	試験	骨材	すりへり	⑪	10,450			30kg程度		設計CBR	⑦	11,450		50kg程度
			微粒分量	⑫	4,000		10kg程度	土粒子密度	⑧	3,900		10kg程度		
			安定性	⑬	24,000		30kg程度	土粒子ふるい分析	⑨	5,350		20kg程度		
		試験	土質	軟石量	⑭	6,200			土粒子沈降分析	⑩	12,050		20kg程度 ③④⑤を組合せ	
				ふるい分け(水ふるい法)	⑮	5,700		10kg程度	土の含水比	⑪	1,200		10kg程度	
表面水率				⑯	2,050			湿潤密度	⑫	1,750				
粘土塊量				⑰	5,000			収縮常数	⑬	休止				
(B) 鋼材試験	試験	粒形判定実積率	⑱	8,150		60kg程度	圧密	⑭	休止					
		アルカリシリカ反応性(化学法)	⑳	57,600		40kg程度	一軸圧縮	⑮	5,800		必要に応じ ③④⑤を組合せ			
		アルカリシリカ反応性(モルタル法)	㉑	108,000		40kg程度	一面せん断	⑯	休止					
		小 計						三軸	非圧密非排水	⑰	10,800		事前打合せ必要	
		形状寸法・単質	①	950		1本(長さ60cm)	圧密非排水	⑱	41,050					
金属材料引張	②	1,250		1本(長さ60cm) 線材φ4以上可	圧密排水	⑲	30,250							
金属材料曲げ	③	1,250		1本(長さ60cm)	定水位透水	⑳	8,450		必要に応じ ⑧を組合せる					
線材のメッキ	④	休止			変水位透水	㉑	11,300							
棒鋼のメッキ	⑤	休止			岩のスレーキング率	㉒	14,450		60kg程度					
小 計						小 計								
(C) アスファルト試験	試験	アスファルト抽出	①	13,500		1試料	金額	注2, 3) 試験成績書			400	1	400	
		コアーの密度	②	1,800	2	3,600								
		マーシャル安定度	③	4,100		1個		試験手数料合計			4,000			
		石粉の比重	④	4,550		10kg程度								
小 計			2	3,600										

5. 試験分類

6. 試験種別・番号と試験数(各試料ごと、上記試験種別・番号と一致する欄に試験の数を記入)

NO.	A~Eを 1つ記入	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
例1	E	1		1	1	1																	
例2	B		3																				
1	C		1																				
2	C		1																				
3																							
4																							
5																							
6																							
合計		2																					

センター
記入欄

注2) 骨材・土質試験の場合は、成績書の発行方法を記入して下さい。

注3) 骨材試験の場合は、種類を選択して下さい。

試験成績書 ①種類ごとに 部計 部
②受付番号でまとめて

コンクリート用 道路用、アスファルト用

アスファルト試験データシート

財団法人鳥取県建設技術センター(/)

* 太線で囲った箇所を御記入下さい。

受付番号		試験日	平成 年 月 日
製造所名		試験責任者	
試験後の供試体処理方法	<input type="checkbox"/> 持帰希望 <input type="checkbox"/> 廃棄希望	試験担当者	

■ 試験方法を口にチェックして下さい。

■ 試験方法の選択について (舗装調査・試験法便覧 - 平成19年6月 準拠)

- ・アスファルト混合物が「開粒度」「透水性」「排水性」の場合は、B008-2 開粒度アスファルト混合物の密度試験方法(2)ノギスによる方法(円柱状供試体)を選択してください。
- ・その他の場合はB008-1密粒度アスファルト混合物等の密度試験方法を選択してください。

試験方法	B008-1 密粒度アスファルト混合物等の密度試験方法	①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	B008-2 開粒度アスファルト混合物の密度試験方法(ノギスによる方法)	②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

供試体情報	備考(路線名等)	/	No.				No.			
	採取位置(測点等)									
	混合物の種類									
	設計厚		mm				mm			
	基準密度		①	g/cm ³				g/cm ³		

供試体の寸法	計測位置		1	2	3	4	1	2	3	4
	厚さ (mm)	②								
	中心の厚さ (mm)	/								
	直径 (cm)		③							

密度試験	B008-1 密粒度 アスファルト	水温 (少数第1位まで測定)		°C	°C
		供試体質量 (0.1gまで測定)	空中 (A)	g	g
			水中 (B)	g	g
			表乾 (C)	g	g
		密度	④ = A / (C - B)	g / cm ³	g / cm ³
	締め固め度	④ / ① × 100	%	%	
	B008-2 開粒度 アスファルト	平均厚さ	⑤ = ② / 4 / 10	cm	cm
		平均直径	⑥ = ③ / 2	cm	cm
		体積	⑦ = ⑤ × ⑥	cm ³	cm ³
		密度	⑧ = A / ⑦	g / cm ³	g / cm ³
締め固め度		⑧ / ① × 100	%	%	

(保管期間 1年)